

■ご存知ですか？ セミオープンシステム

妊娠がわかったらお産をする病院を決めて、妊娠中からその先生に診てもらう、というのがこれまでの一般的な分娩のスタイルでした。

しかし、最近では分娩を扱っていないクリニックや産婦人科医院が増えたため、お産をするには時間をかけて遠くの専門病院へ通院しなければならない、という問題がでてきました。

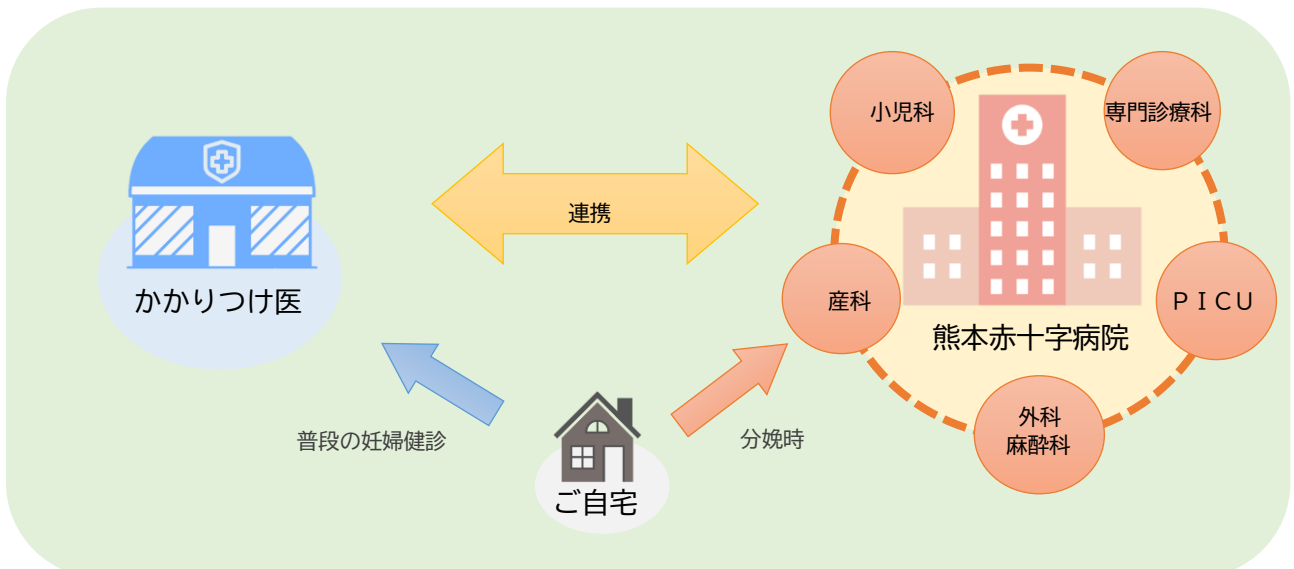
このような世の中の変化に対応するため、妊娠の異常や合併症などのないローリスクの妊婦さんの場合には、**妊婦健診は近くの産婦人科で受けて、出産は専門病院で行う**という新しいスタイルが広がっています。

このように、地域のクリニックと病院・周産期センターが連携して妊産婦さんを診ていくシステムを「**セミオープンシステム**」と呼びます。

■熊本赤十字病院のセミオープンシステムを利用したお産のメリット

- ◎ 普段の妊婦健診はかかりつけ医で都合の良い日時に受けられる。
- ◎ 自宅に近い施設で健診を受けられるので、通院時間や待ち時間が少なくてすむ。
- ◎ 急な異常が起こった時には日赤救急外来を24時間365日受診でき、必要があれば入院もできる。
- ◎ 設備やスタッフなど態勢の整った専門病院で分娩の管理をしてもらえる。
- ◎ 母親学級なども日赤に通院している妊婦さんと同じように参加することができる。


熊本赤十字病院では、妊産婦さんに安心・安全な出産をしていただけるよう、地域のクリニックなどと連携した「セミオープンシステム」をとり入れています。



セミオープンシステムによる健診

地域のクリニックと熊本赤十字病院の役割分担

 …地域のクリニック

 …熊本赤十字病院

妊娠初期
〜
34週頃まで



① 「地域のクリニック」で妊娠の確認

母子手帳の交付を受け、地域のクリニックで妊娠初期検査を開始



② 20週頃になったら「熊本赤十字病院」でリスクの評価

妊娠20週を目安に紹介状を持って熊本赤十字病院を受診していただきます。
※ 受付は、月・水・金の 8:30~11:30 まで



③ 「地域のクリニック」で妊婦健診を継続

- ☑ 妊娠中に異常が起こった時や、地域のクリニックで必要と判断された時には、いつでも熊本赤十字病院の健診に変更できます。
- ☑ 夜間・休日など、地域のクリニックで対応が難しい時間帯に出血、腹痛などの気になる症状がある時は、24時間365日日赤救命救急センターを受診することができます。また、必要があれば入院もできます。



④ 34週までに「熊本赤十字病院」で健診を開始

34週頃
〜
分娩まで

⑤ 「熊本赤十字病院」で分娩

分娩



⑥ 「いずれかの病院」で一ヶ月健診

ご希望に合わせていずれかの病院で受られます。

1ヶ月健診



ひとり、ひとりの妊婦さんの
ニーズに応えたいガー♪

